



コール アドミッション制御の概要

- ・[コールアドミッション制御について \(1 ページ\)](#)
- ・[コールアドミッション制御の設定 \(1 ページ\)](#)

コール アドミッション制御について

コールアドミッション制御は、WAN リンク上でユーザが期待するレベルの音声品質を維持する場合に使用します。

リンク上に存在するアクティブコール数が増えすぎて帯域幅の使用量が過剰になると、音声品質が低下し始める場合があります。コールアドミッション制御は、特定のリンク上で同時にアクティブにするコール数を制限することにより、音声品質を調整します。コールアドミッション制御を使用して、リンク上で特定レベルの音質を保証することはできませんが、リンク上のアクティブコールが消費する帯域幅を調整できます。

コールアドミッション制御は、帯域幅とポリシーでコールを拒否することによって機能します。コールがコールアドミッション制御によって拒否された場合、着信側の電話機は呼び出し音が鳴らず、発信者にはビジー音が聞こえます。また、発信者には、電話機に「帯域幅不足です」などのメッセージが表示されます。自動代替ルーティング(AAR)を有効にしている場合、コール受付制御は、WAN 帯域を利用できないときに、代替公衆交換電話網(PSTN)の着信コールを自動的に diverts します。

コール アドミッション制御の設定

コールアドミッション制御 (CAC) を実装するには、次のいずれかのタスク フローを選択します。

タスクフロー	説明
拡張ロケーションコールアドミッション制御のタスクフロー	複数のクラスタが同じ WAN アップリンクを使用して同じ物理サイトのデバイスを管理する、分散導入環境では拡張ロケーション CAC を使用します。拡張ロケーション CAC により、ロケーション間のリンク上のコールに使用可能な帯域幅を制限して、音声品質を調整できます。さらに、TelePresence などのイマーシブビデオコールに対してコールアドミッションを他のビデオコールとは別に制御できます。
RSVP の設定タスクフロー	RSVP を使用して、IP テレフォニーやビデオ会議アプリケーションを含む複雑な、複数の階層型トポロジにおいてコールアドミッション制御を実装します。RSVP でも帯域幅を動的に変更できます。